



たかんぼろ

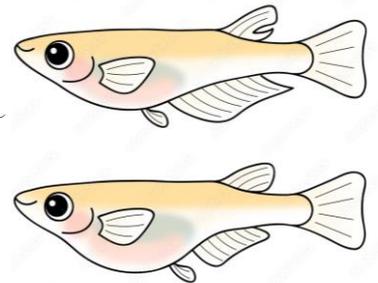


綾川町立羽床小学校

生きているメダカを飲めば、泳げるようになる？

本田宗一郎さん（本田技研工業HONDAの創業者）がこんなこと

を言っています。「子どものころ、生きているメダカを飲み込めば泳げるようになると教えてくれた人がいました。それを信じた私は、「泳げるようになりたい一心」で、小川に入って、泳いでいるメダカをすくっては飲み、飲み込んですくって、手足をバタバタさせてみました。でも、いこうに泳げるようにはなりません



でした。そこで、メダカでは『小さすぎて力不足なのかも？』と、今度はザルを使って大きな魚をすくって飲み込んでみました（**決してマネはしないでください**）。胃の中でゴソゴソ動く魚を感じながら、手足をバタバタさせたら、少し泳げるようになりました。そこで、また魚を飲み込んで、手足をバタバタしました。この繰り返しているうちに、いつの間にか泳げるようになりました」という話です。本田さんが泳げるようになったのは、もちろん飲み込んだ魚のせいではなく、毎日一生懸命練習したからですが、それを支えたのは「泳げるようになりたい」という一念、つまり**強い意志の力**だったのです。

はじめて泳げるようになったときの感動・喜びを覚えている人は多いと思いますが、本田さんの話は、物事ができるようになる源（もと）は、「**意志の力**」であることを教えてくれているのではないのでしょうか。皆さんが、将来力強く生きていく力を身に付けるためには、「できるようになりたい」、「こんなふうになりたい」という意志を持つこと、また、その意志を表に出して、「本気」で取り組むことです。そんな本気で様々なことに取り組む皆さんを、先生たちみんなで、見守ります、励まします、時には手もさしのべていきます。

暑さも夏バテも解消する二学期は落ち着いて何かに打ち込める絶好の気候、機会でもありますので、強い意志と自信をもってチャレンジしまし



よう、よく言われる、実りの秋、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、たくさんの秋を体で感じましょう。

児童の活動のようす等

令和5年度 よい歯の審査会



8/3(木)、県よい歯の審査会が開催され、6年生が郡代表として出場しました。

羽床まつり 8/5(土)



秩父別交流事業



秩父別の冬は、雪

7/26(水)、秩父別交流団が羽床小学校を訪問し、施設の見学等をしました(下写真)。羽小からは、5年生が代表で参加し、交流を深めました。雪国の北海道秩父別町の児童生徒によると「 35°C +湿気」酷暑は、初めての体験だったようです。



4年ぶりに開催された羽床まつり。各クラブの出し物やこども踊り、アカペラ等、さらに羽床&阿波踊りで大いに盛り上がり、トリの花火の演出が祭りに華を添えました。子どもの楽しそうな笑顔を見ると必要不可欠なイベントと改めて感じました。準備、片付け、接待にご尽力いただいた方々のおかげで参加した児童にとって楽しい一時となりました。

【9月のおもな行事】

1日(金) 始業式

8日(金) PTA 本部役員会

町づくりプロジェクト (香大生との交流)

15日(金) 校外学習

24日(日) アジャタ講習会

27日(水) 学習参観 親子給食 学校保健委員会
修学旅行説明会 関係者評価委員会